

やまなしの国保

秋号

発行所 山梨県国民健康保険団体連合会

山梨県甲府市蓬沢 1-15-35(山梨県自治会館 4 階)

TEL:055-223-2111

<https://www.ymnkokuho.or.jp/>

目次

●【トピックス】

- ・第 104 回山梨県国民健康保険団体連合会通常総会
- ・国保総合システムに係る国庫補助獲得のための要望活動を実施

●健康長寿推進課通信

- ・令和 7 年度高齢者福祉基礎調査の概要

●連合会ニュース

- ・特定健診等普及啓発事業（ヴァンフォーレ甲府ホーム戦ブース出展）
- ・「健康づくりとスポーツに関する連携協定」締結 1 周年記念イベント
- ・ヴァンフォーレ甲府の選手が来会しました！



令和7年7月29日(火)に県自治会館1階講堂にて第104回国保連合会通常総会を開催した。
29会員の出席(委任状を含む)のもと、令和6年度事業報告並びに各会計決算等が審議された。

開会にあたり、金丸一元理事長(南アルプス市長)は「日頃より、国保連合会の事業運営に、多大なご尽力を賜り、業務が概ね順調に執行されていることについて、厚くお礼申し上げる。」と述べた。

また、「急速な高齢化や少子化の影響により人口構造が大きく変化しており、国民健康保険においては、加入者の減少、医療費の増加、厳しい保険財政などの課題に直面している。このため、国では持続可能な社会保障制度の構築を目指した、全世代型社会保障改革が進められており、給付と負担の見直しや、デジタル技術の進展に対応したサービス提供体制の改革等の取組が行われている。

このような状況の中、国保連合会は地域の保険者に支えられ、その信頼関係の下に国民健康保険・後期高齢者医療に関する診療報酬の審査支払や保険者支援などを行ってきた。今後とも、「医療・保健・介護・福祉の総合専門機関」として、保険者等のニーズに沿ったサービスの維持・向上を図るとともに、審査支払業務の充実、効果的な事業の推進と健全な財政運営を行っていく。」と挨拶した。

事務局が提出した報告事項1件、議決事項32件について審議した結果、すべての案件が原案どおり承認、可決された。

報告事項

報告第1号… 令和7年度山梨県国民健康保険団体連合会一般会計歳入歳出予算補正(第1号)について

協議事項

議第1号… 令和6年度山梨県国民健康保険団体連合会事業報告の認定について

議第2号… 令和6年度山梨県国民健康保険団体連合会一般会計歳入歳出決算認定について

議第3号… 令和6年度山梨県国民健康保険団体連合会診療報酬審査支払特別会計(業務勘定)歳入歳出決算認定について

議第4号… 令和6年度山梨県国民健康保険団体連合会後期高齢者医療事業関係業務特別会計(業務勘定)歳入歳出決算認定について

議第5号… 令和6年度山梨県国民健康保険団体連合会介護保険事業関係業務特別会計(業務勘定)歳入歳出決算認定について

議第6号… 令和6年度山梨県国民健康保険団体連合会障害者総合支援法関係業務等特別会計(業務勘定)歳入歳出決算認定について

議第7号… 令和6年度山梨県国民健康保険団体連合会特定健診等業務特別会計歳入歳出決算認定について

議第8号… 令和6年度山梨県国民健康保険団体連合会国民健康保険診療報酬審査支払特別会計(支払勘定)歳入歳出決算認定について

議第9号… 令和6年度山梨県国民健康保険団体連合会公費負担医療に関する診療報酬審査支払特別会計(支払勘定)歳入歳出決算認定について

議第10号… 令和6年度山梨県国民健康保険団体連合会後期高齢者医療事業関係業務特別会計(支払勘定)歳入歳出決算認定について

議第11号… 令和6年度山梨県国民健康保険団体連合会診療報酬審査支払特別会計(出産育児一時金等に関する支払勘定)歳入歳出決算認定について

議第12号… 令和6年度山梨県国民健康保険団体連合会介護保険事業関係業務特別会計(介護給付費等支払勘定)歳入歳出決算認定について

議第13号… 令和6年度山梨県国民健康保険団体連合会介護保険事業関係業務特別会計(公費負担医療等に関する報酬等支払勘定)歳入歳出決算認定について

議第14号…	令和6年度山梨県国民健康保険団体連合会障害者総合支援法関係業務等特別会計(支払勘定)歳入歳出決算認定について	議第24号…	令和7年度山梨県国民健康保険団体連合会特定健診等業務特別会計歳入歳出予算補正(第1号)について
議第15号…	令和6年度山梨県国民健康保険団体連合会重度心身障害者医療費集計業務特別会計歳入歳出決算認定について	議第25号…	令和7年度山梨県国民健康保険団体連合会国民健康保険診療報酬審査支払特別会計(支払勘定)歳入歳出予算補正(第1号)について
議第16号…	令和6年度山梨県国民健康保険団体連合会診療報酬審査支払特別会計(抗体検査等費用に関する支払勘定)歳入歳出決算認定について	議第26号…	令和7年度山梨県国民健康保険団体連合会公費負担医療に関する診療報酬審査支払特別会計(支払勘定)歳入歳出予算補正(第1号)について
議第17号…	令和6年度山梨県国民健康保険団体連合会支払資金貸付特別会計歳入歳出決算認定について	議第27号…	令和7年度山梨県国民健康保険団体連合会後期高齢者医療事業特別会計(支払勘定)歳入歳出予算補正(第1号)について
議第18号…	令和6年度山梨県国民健康保険団体連合会職員退職手当特別会計歳入歳出決算認定について	議第28号…	令和7年度山梨県国民健康保険団体連合会介護保険事業関係業務特別会計(介護給付費等支払勘定)歳入歳出予算補正(第1号)について
議第19号…	令和7年度山梨県国民健康保険団体連合会一般会計歳入歳出予算補正(第2号)について	議第29号…	令和7年度山梨県国民健康保険団体連合会障害者総合支援法関係業務等特別会計(支払勘定)歳入歳出予算補正(第1号)について
議第20号…	令和7年度山梨県国民健康保険団体連合会診療報酬審査支払特別会計(業務勘定)歳入歳出予算補正(第1号)について	議第30号…	令和7年度山梨県国民健康保険団体連合会重度心身障害者医療費集計業務特別会計歳入歳出予算補正(第1号)について
議第21号…	令和7年度山梨県国民健康保険団体連合会後期高齢者医療事業関係業務特別会計(業務勘定)歳入歳出予算補正(第1号)について	議第31号…	令和7年度山梨県国民健康保険団体連合会支払資金貸付特別会計歳入歳出予算補正(第1号)について
議第22号…	令和7年度山梨県国民健康保険団体連合会介護保険事業関係業務特別会計(業務勘定)歳入歳出予算補正(第1号)について	議第32号…	令和7年度山梨県国民健康保険団体連合会職員退職手当特別会計歳入歳出予算補正(第1号)について
議第23号…	令和7年度山梨県国民健康保険団体連合会障害者総合支援法関係業務等特別会計(業務勘定)歳入歳出予算補正(第1号)について		

公 告

令和7年7月29日開催の第104回通常総会において、令和6年度山梨県国民健康保険団体連合会事業報告書及び各会計決算認定等について議決を得たので、国民健康保険法施行令第24条に基づき次のとおり公告する。

令和6年度の事業は、第101回通常総会において議決された事業計画に基づき、保険者及び関係機関との連携を密にして実施した。

<以下事業の主なものを抜粋>

●第102回通常総会

令和6年7月31日 甲府市 於 県自治会館

●第103回通常総会

令和7年2月27日 甲府市 於 県自治会館

●役員(理事・監事)会

令和6年7月19日 甲府市 於 県自治会館

令和6年12月24日 甲府市 於 県自治会館

令和7年2月13日 甲府市 於 県自治会館

●監事会

令和6年7月4日 甲府市 於 県自治会館

●山梨県国民健康保険団体連合会事業運営協議会

令和6年11月6日 甲府市 於 県自治会館

●国保制度改善強化全国大会

令和6年11月15日 東京都 於 砂防会館

●医療費適正化に向けた実務研修会

令和6年5月31日 (オンライン開催)

●第三者行為損害賠償求償事務担当職員研修会

令和6年6月7日 (オンライン開催)

令和6年10月3日 (オンライン開催)

●電算処理業務研修会

令和6年6月25日 (オンライン開催)

令和6年10月29日 (オンライン開催)

●高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施に関する研修会

令和6年7月4日 甲府市 於 県自治会館

●介護サービス苦情処理担当者実務研修会

令和6年12月5日 甲府市 於 県自治会館

令和6年度山梨県国民健康保険団体連合会会計別決算総括表

(単位:円)

会計名	予算現額	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引残額
一般会計	199,845,000	184,280,039	152,298,418	31,981,621
診療報酬審査支払特別会計(業務勘定)	732,007,000	634,362,890	624,182,476	10,180,414
後期高齢者医療事業関係業務特別会計(業務勘定)	687,297,000	622,214,767	604,024,974	18,189,793
介護保険事業関係業務特別会計(業務勘定)	202,247,000	183,135,949	167,767,817	15,368,132
障害者総合支援法関係業務等特別会計(業務勘定)	82,166,000	67,010,584	50,154,862	16,855,722
特定健診等業務特別会計	795,450,000	725,636,903	718,082,206	7,554,697
国民健康保険診療報酬審査支払特別会計(支払勘定)	58,792,815,000	55,526,504,227	55,526,369,356	134,871
公費負担医療に関する診療報酬審査支払特別会計(支払勘定)	2,059,094,000	1,603,477,375	1,603,464,852	12,523
後期高齢者医療事業関係業務特別会計(支払勘定)	120,915,318,000	112,599,299,111	112,599,172,387	126,724
診療報酬審査支払特別会計(出産育児一時金等に関する支払勘定)	252,008,000	189,730,358	189,729,050	1,308
介護保険事業関係業務特別会計(介護給付費等支払勘定)	79,778,424,000	76,151,973,544	76,151,502,817	470,727
介護保険事業関係業務特別会計(公費負担医療等に関する報酬等支払勘定)	417,447,000	373,637,411	373,634,819	2,592
障害者総合支援法関係業務等特別会計(支払勘定)	28,598,770,000	26,803,199,306	26,803,015,304	184,002
重度心身障害者医療費集計業務特別会計	176,052,000	175,955,002	164,920,481	11,034,521
診療報酬審査支払特別会計(抗体検査等費用に関する支払勘定)	53,706,000	19,429,567	19,429,567	0
支払資金貸付特別会計	36,829,000	20,513,004	15,234,000	5,279,004
職員退職手当特別会計	51,415,000	40,859,704	40,810,443	49,261
合計	293,830,890,000	275,921,219,741	275,803,793,829	117,425,912

山梨県国民健康保険団体連合会財産目録

令和 7 年 3 月 31 日現在(単位:円)

区分	積立金等名称	会計	前年度末現在高	本年度増減高	現在高
積立資産等	事業運営安定化積立金		439,744,000	0	439,744,000
		国保	55,116,042	0	55,116,042
		後期	20,096,942	0	20,096,942
		介護	26,806,777	0	26,806,777
		特定	45,686,204	0	45,686,204
		退職	292,038,035	0	292,038,035
	財政調整基金積立資産		82,410,000	79,208,000	161,618,000
		国保	27,446,000	31,593,000	59,039,000
		後期	32,879,000	36,168,000	69,047,000
		介護	11,335,000	3,003,000	14,338,000
		障害	3,759,000	1,000	3,760,000
		特定	1,567,000	1,237,000	2,804,000
	減価償却引当資産	重度心身障害者 医療費	5,424,000	7,206,000	12,630,000
			408,527,000	△ 6,974,000	401,553,000
		国保	229,094,000	23,561,000	252,655,000
		後期	111,021,000	△ 5,140,000	105,881,000
		介護	34,362,000	△ 25,374,000	8,988,000
		障害	601,000	742,000	1,343,000
	電算処理システム導入 作業経費積立資産	特定	27,808,000	△ 2,839,000	24,969,000
		重度心身障害者 医療費	5,641,000	2,076,000	7,717,000
			145,891,000	△ 1,876,000	144,015,000
		国保	83,412,000	5,255,000	88,667,000
		後期	25,713,000	4,686,000	30,399,000
		介護	16,135,000	△ 7,924,000	8,211,000
	ICT 等を活用した審査支 払業務等の高度化に係 る積立資産	障害	5,508,000	△ 4,754,000	754,000
		特定	12,666,000	149,000	12,815,000
		重度心身障害者 医療費	2,457,000	712,000	3,169,000
			154,929,000	134,812,000	289,741,000
		国保	71,982,000	43,572,000	115,554,000
		後期	61,370,000	75,588,000	136,958,000
退職給付引当資産	介護	5,599,000	5,599,000	11,198,000	
	障害	11,277,000	5,847,000	17,124,000	
	特定	4,701,000	4,206,000	8,907,000	
	退職	65,580,975	△ 6,670,407	58,910,568	
合 計			1,297,081,975	198,499,593	1,495,581,568

2025.8.6

国保総合システムに係る 国庫補助獲得のための要望活動を実施



神谷まろみ事務局長

金丸一元理事長
(南アルプス市長)

衆議院議員自由民主党
堀内詔子氏

小島徹常務理事

要望事項

国保総合システムの開発や運用に当たっては、保険者や被保険者に追加的な財政負担が生じないように、国の責任において必要な財政措置を講じること。

《要望書全文》

国保中央会・国保連合会が開発運用している「国保総合システム」は、国保制度等の基盤を支える極めて公共性の高い、医療 DX 推進の柱となる重要なインフラである。

令和六年三月に機器の保守期限が到来することとなっていたため、「審査支払機能に関する改革工程表」に沿って、第一段階の対応として、クラウドへの移行や支払基金システムと受付領域を共同利用するためのシステム開発に取り組み、令和六年度より稼働を開始している。

さらに、第二段階の対応として、支払基金と審査領域を共同利用するためのシステム開発に向けた検討を進めている。

しかしながら、第一段階のシステム開発においては、開発期間が限られる中でシステム障害等のリスクを避けるために段階的に進めていくこととしたことから、クラウドサービスを十分活用するなどシステムを最適化するまでには至らなかった。このため、支払基金システムにはない国保保険者事務の共同処理を行う保険者サービス系機能を含めて、早急にシステムを最適化し保守・運用費の縮減を図ることが不可避となっている。

また、第二段階の支払基金との審査領域の共同開発・共同利用においても、国保等の保険者の保守・運用費の縮減が求められており、その実現のためにはシステムの一層の最適化と審査業務におけるAIの活用に取り組む必要がある。

国保総合システムのこれらの開発に係る費用や保守・運用費を賄うための財源については、国保連合会が保有する積立資産だけでは不足しており、保険者等から徴収する審査支払手数料等を引き上げて対応せざるを得ない。

しかしながら、物価高騰等の影響により厳しい経済状況が続いており、この費用を保険料(税)の引き上げで被保険者に負担させることは極めて困難である。

よって、この内容を実現させるために必要な費用について、財政基盤が脆弱な国保保険者及び後期高齢者医療広域連合や被保険者に追加的な負担が生じないように、国の責任において必要な財政措置を講じよう強く要望する。

上記のことから、去る 8 月 6 日、金丸一元理事長(南アルプス市長)ほか本会の役員等は県関係国会議員に対して要望活動を実施した。

健康長寿推進課通信

地域包括ケア推進担当
課長補佐 丸山 義仁
(まるやま よしひと)

令和7年度高齢者福祉基礎調査の概要

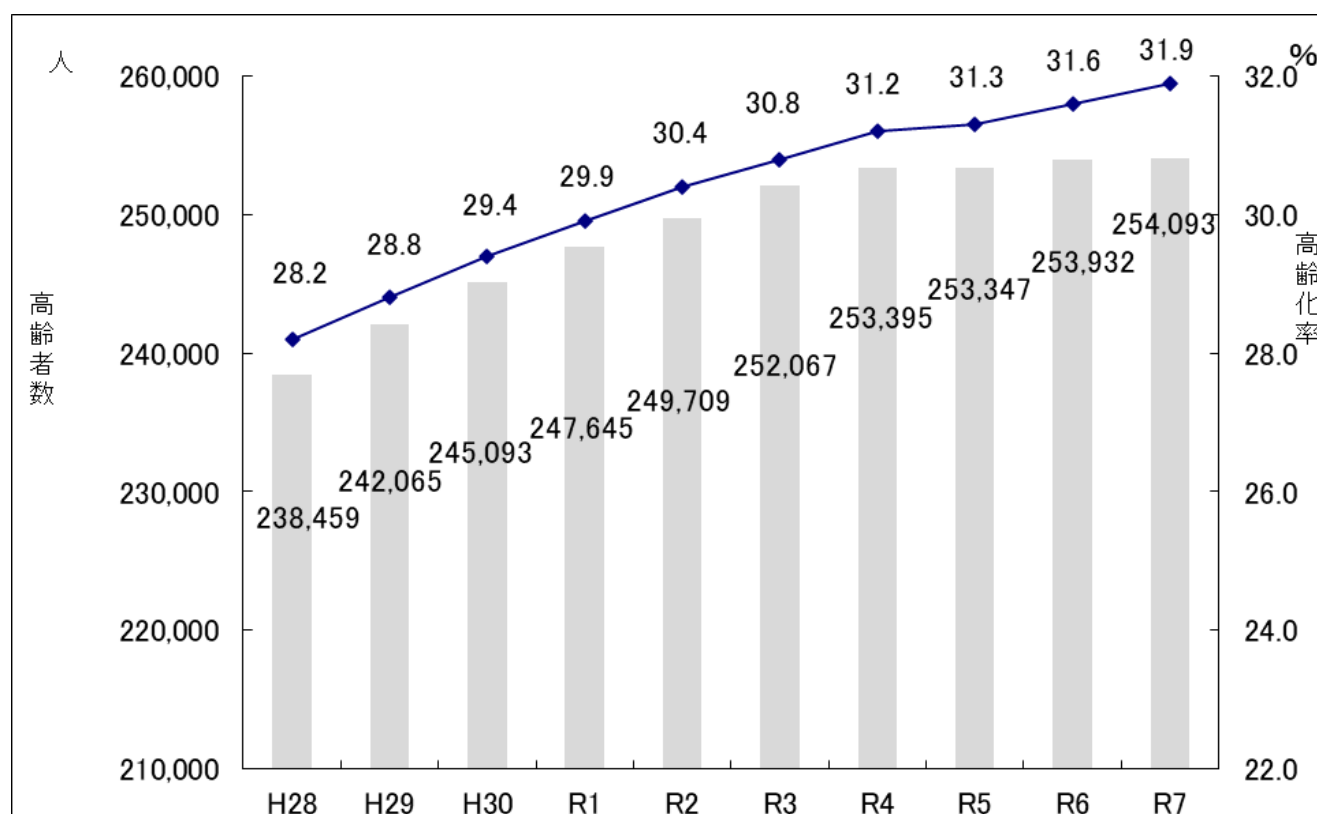
山梨県では、高齢者福祉施策を推進するための基礎資料を得ることを目的として、高齢者の人口、在宅ひとり暮らし高齢者数、在宅寝たきり高齢者数等を把握する「高齢者福祉基礎調査」を毎年実施しております。

このたび本年度の調査結果がまとまりましたので、その概要についてお知らせします。

1 高齢者人口、高齢化率の状況

令和7年4月1日現在、65歳以上の高齢者は254,093人(前年比161人増)、高齢者人口の総人口に対する割合である高齢化率は31.9%(前年比0.3ポイント増)となっており、高齢者数、高齢化率とも前年度と比べ増加、上昇していることが明らかになりました(図1)。

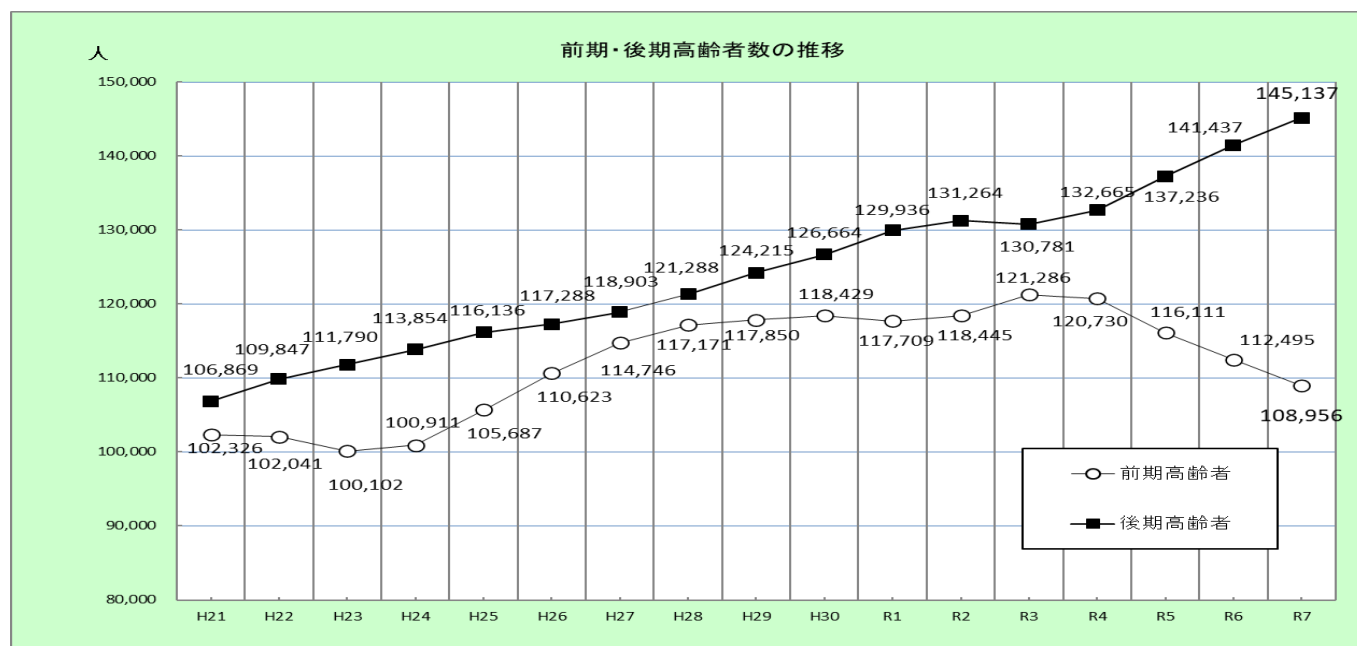
図1 【高齢者数と高齢化率の推移】



全国の高齢化率29.3%(総務省「人口推計」(概算値)令和7年4月1日現在)と比べると2.6ポイント高く、本県は全国より高齢化が進んでいることになります。

また、平成18年以降、75歳以上の後期高齢者数が65歳以上75歳未満の前期高齢者数を上回っており、令和7年はその差が36,181人となっています(図2)。

図2 【前期・後期高齢者数の推移】

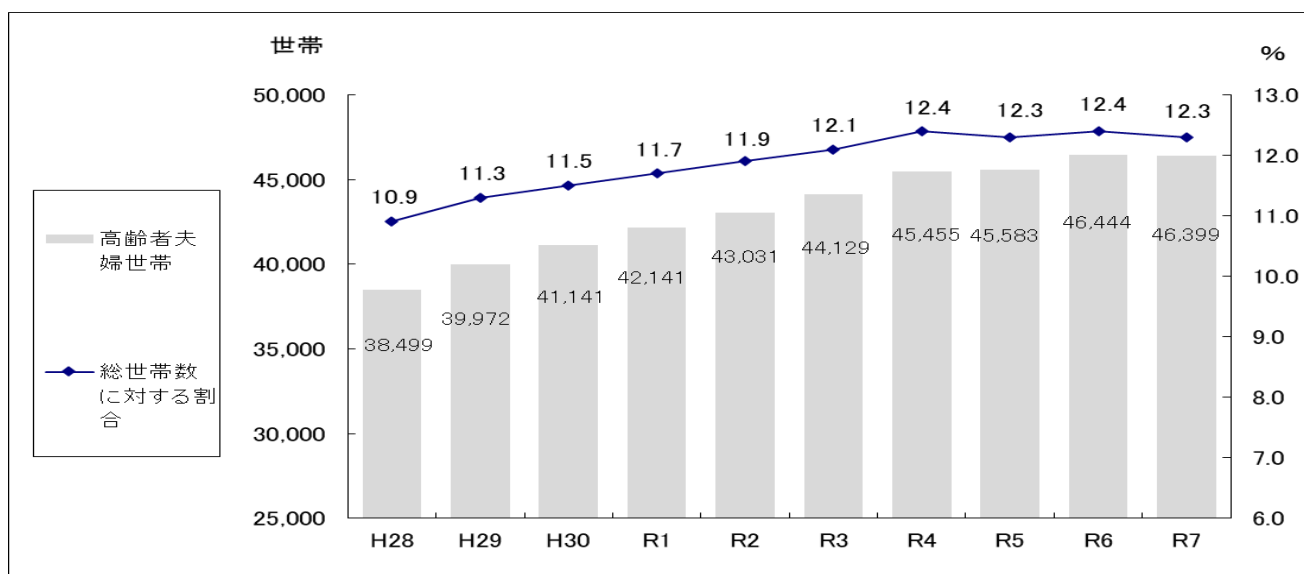


2 高齢者世帯の状況

夫婦とも65歳以上の高齢者夫婦世帯は46,399世帯で、県総世帯数の12.3%を占め、前年の46,444世帯と比べ45世帯減少しています(図3)。

また、その他高齢者世帯(※1)は3,052世帯となっています。

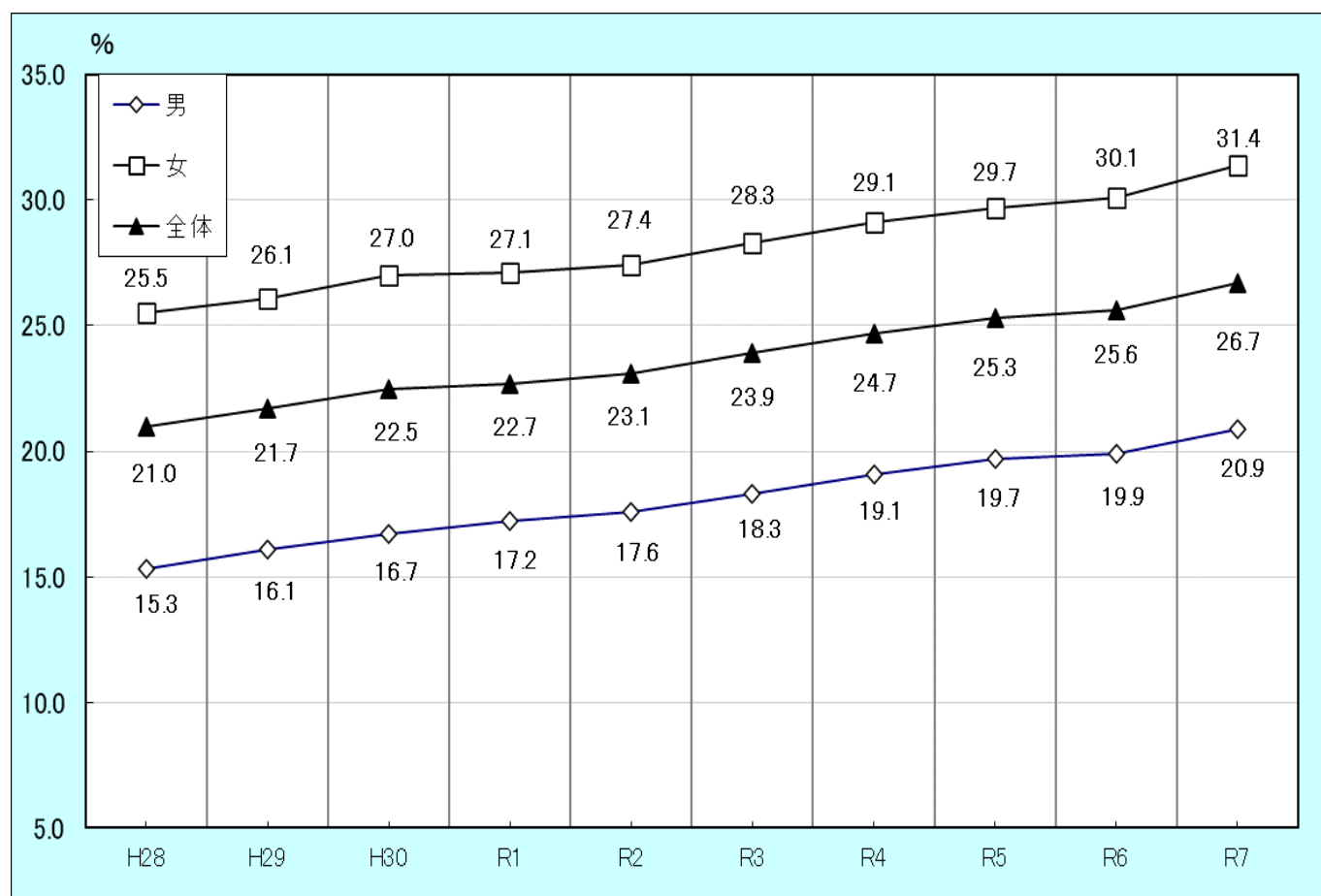
図3 【高齢者夫婦世帯数の推移】



在宅ひとり暮らし高齢者(※2)は67,923人で、高齢者全体の26.7%を占めています。前年の65,099人と比べ2,824人増加し、高齢者に対する在宅ひとり暮らし高齢者の割合は年々大きくなっています(図4)。

また、後期高齢者(75歳以上)の割合が66.3%で、男女別では、男性が34.5%、女性が65.5%と女性の割合が大きくなっています。

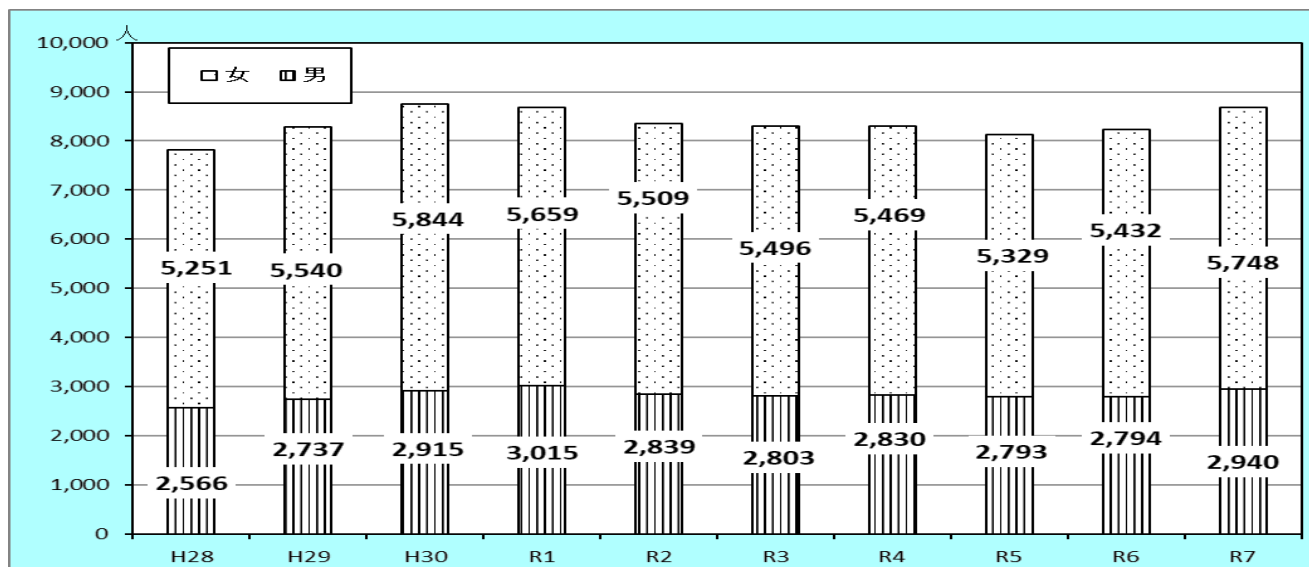
図4 【高齢者に対する在宅ひとり暮らし高齢者の割合の推移】



3 在宅寝たきり高齢者の状況

在宅寝たきり高齢者(※3)は8,688人で、前年の8,226と比べ426人増加しています。
このうち女性は5,748人で、66.2%を占めています(図5)。

図5 【在宅寝たきり高齢者の状況】



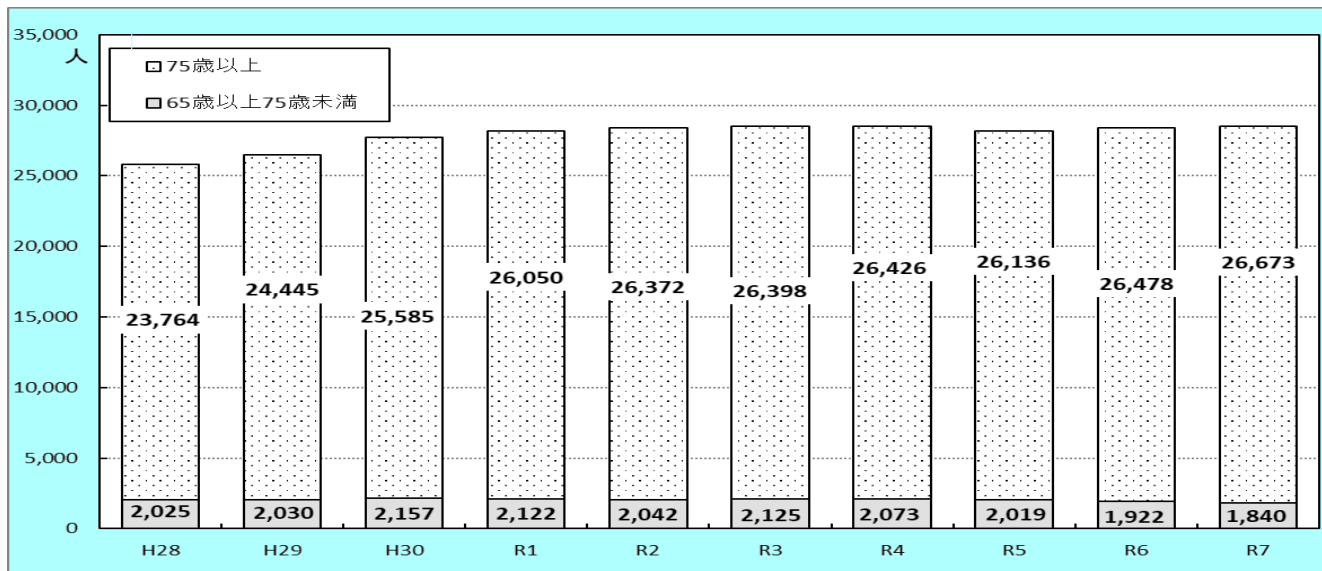
4 認知症高齢者の状況

認知症高齢者数(※4)は28,513人で、高齢者全体の11.2%を占め、前年の28,400人と比べ113人増加しています。

このうち75歳以上が26,673人と認知症高齢者の93.5%(図6)を、男女別では、女性が70.4%を占めています。

また、20,814人が在宅、7,699人が施設入所(※5)となっています。

図6 【認知症高齢者の状況】



5 市町村別高齢化率の状況

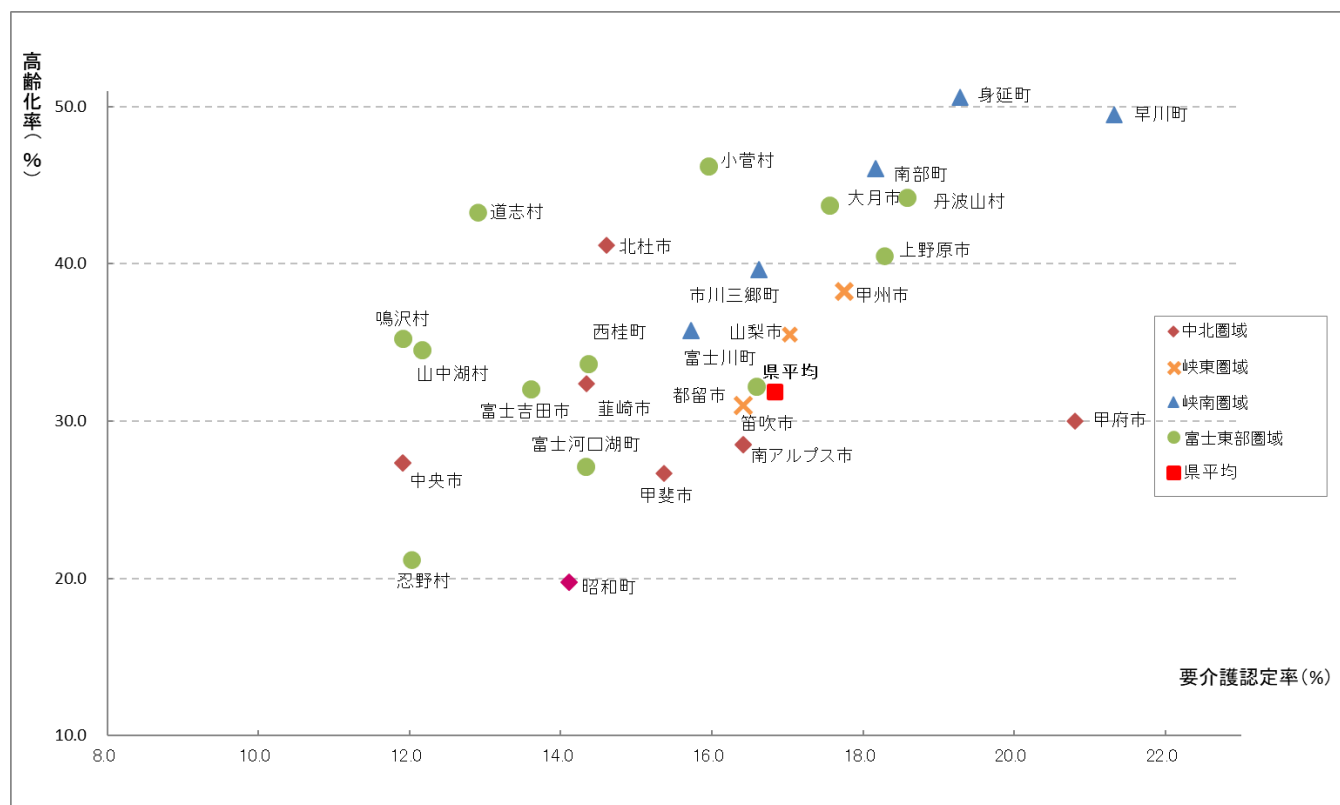
高齢化率が50%を超える市町村が1町(身延町)、40%以上50%未満が8市町村(早川町、小菅村、南部町、丹波山村、大月市、道志村、北杜市、上野原市)、30%以上40%未満が11市町村(市川三郷町、甲州市、富士川町、山梨市、鳴沢村、山中湖村、西桂町、韮崎市、都留市、富士吉田市、笛吹市)あり、圏域別では峡南圏域が最も高くなっています。

一方、高齢化率が20%以上25%未満の市町村は忍野村、20%未満は昭和町となっています(図7)。

区分 市町村・圏域	総人口(人)	高齢者人口(人)	高齢化率(%) (R7.4.1現在)	要介護認定率(%) (R7.3月末現在)
甲府市	182,995	54,814	29.95	20.80
韮崎市	27,685	8,973	32.41	14.34
南アルプス市	71,624	20,379	28.45	16.42
北杜市	45,104	18,587	41.21	14.61
甲斐市	75,989	20,303	26.72	15.37
中央市	30,407	8,310	27.33	11.92
昭和町	21,371	4,213	19.71	14.11
中北圏域計	455,175	135,579	29.79	15.37
山梨市	32,498	11,533	35.49	17.03
笛吹市	66,659	20,635	30.96	16.41
甲州市	28,899	11,049	38.23	17.76
峡東圏域計	128,056	43,217	33.75	17.07
市川三郷町	14,359	5,680	39.56	16.63
早川町	812	402	49.51	21.32
身延町	9,541	4,827	50.59	19.28
南部町	6,713	3,087	45.99	18.17
富士川町	13,833	4,941	35.72	15.73
峡南圏域計	45,258	18,937	41.84	18.23

区分 市町村・圏域	総人口(人)	高齢者人口(人)	高齢化率(%) (R7.4.1現在)	要介護認定率(%) (R7.3月末現在)
富士吉田市	46,008	14,700	31.95	13.61
都留市	28,046	9,019	32.16	16.60
大月市	21,141	9,246	43.73	17.56
上野原市	21,012	8,506	40.48	18.28
道志村	1,507	653	43.33	12.90
西桂町	3,842	1,292	33.63	14.37
忍野村	9,651	2,047	21.21	12.03
山中湖村	5,796	1,998	34.47	12.16
鳴沢村	3,054	1,074	35.17	11.91
富士河口湖町	27,026	7,315	27.07	14.33
小菅村	621	287	46.22	15.96
丹波山村	504	223	44.25	18.58
富士・東部圏域計	168,208	56,360	33.51	14.86
県合計	796,697	254,093	31.89	16.83

図7 【市町村別高齢化率、認定率の状況(参考)】



※要介護認定率:要介護認定者数/第1号被保険者数(令和7年3月分介護保険事業状況報告(暫定版)から算出)

6 今回の調査結果の特徴

総人口の減少と高齢者数の増加により、高齢化率は31.9%となり調査開始以来最高となりました。

7 終わりに

この調査は市町村の皆様の御協力のもと昭和48年から毎年実施しており、高齢者福祉の基礎的なデータについて、経年変化や他の市町村との比較ができる有意義なものとなっております。

御協力いただきました皆様に感謝申し上げますとともに、調査結果を高齢者福祉施策の基礎資料として御活用いただけますと幸いです。

詳しい調査結果については県ホームページに掲載されていますので、併せて御覧ください。
(<https://www.pref.yamanashi.jp/chouju/24909311206.html>)

<注釈>

※1…すべての世帯構成員が65歳以上の高齢者からなる世帯（高齢者夫婦世帯、ひとり暮らし高齢者世帯を除く）

※2…施設入所者を除くひとり暮らし高齢者。なお、ここでいう施設とは、介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）、地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護、介護老人保健施設、介護医療院、養護老人ホーム、軽費老人ホーム、有料老人ホーム（介護保険の特定施設入居者生活介護の指定を受けているものに限る）、認知症対応型共同生活介護（グループホーム）を指す

※3…「障害高齢者の日常生活自立度（寝たきり度）判定基準」のランクB又はランクCに該当する者をいう

（参考）障害高齢者の日常生活自立度（寝たきり度）

ランクB：屋内での生活は何らかの介助を要し、日中もベッド上での生活が主体であるが座位を保つ

ランクC：一日中ベッド上で過ごし、排泄、食事、着替において介助を要する

※4…「認知症高齢者の日常生活自立度判定基準」がⅡ以上の者をいう

（参考）認知症高齢者の日常生活自立度Ⅱ

日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる。（たびたび道に迷う、服薬管理ができない、一人で留守番ができないなど）

※5…ここでいう施設は※2と同じ

特定健診等普及啓発事業 (ヴァンフォーレ甲府ホーム戦ブース出展)

6月は「特定健診推進月間」です！

県及び本会並びに協会けんぽ等で構成する山梨県保険者協議会では、生活習慣病予防のための特定健診の普及促進を目的として、本格的に特定健診が始まる6月を「特定健診推進月間」とし、重点的な啓発活動を行っている。

ブース出展の様子

令和7年6月15日(日)にヴァンフォーレ甲府のホーム戦(対 ロアッソ熊本)が行われ、山梨県保険者協議会は小瀬スポーツ公園の「JIT リサイクルインクスタジアム」前に、特定健診・特定保健指導の実施率向上やジェネリック医薬品使用割合促進に向けた取組における普及啓発PRを実施するため、健康度測定(握力測定・身長測定・体組成計)を行うブースを出展した。

健康測定を受けた方には普及啓発品として、本会のオリジナルキャラクタージェネスリーのヴァンフォーレカラーのキッチンスポンジとチラシ及び風船を配布した。

また、スタジアムの大型ビジョンに特定健診の実施率向上に向け、「年に1回特定健診を受けましょう」を広告として掲載した。

当日のブースには、試合が始まる前の空き時間を利用して、幅広い年齢層の方が約130人来場し、参加者が自身の測定結果を確認することで、健康意識の向上が図れ、特定健診等の大切さについてPRすることができた。

また、本会は令和7年9月20日(土)のヴァンフォーレ甲府ホーム戦で、特定健診・特定保健指導の実施率向上及びジェネリック医薬品の使用割合促進、保険税(料)収納率向上などの国保事業をPRするため、国保連合会として健康度測定を行うブースを出展した。

啓発品



「健康づくりとスポーツに関する連携協定」 締結 1 周年記念イベント



本会は、令和 6 年 3 月に(株) ヴァンフォーレ山梨スポーツクラブ及び(一社)ヴァンフォーレスポーツクラブと地域の健康づくりとスポーツの向上に貢献し、健康で安心して生活できる環境づくりを構築することを目的に3者で「健康づくりとスポーツに関する連携協定」を締結した。

このたび、連携協定締結から1周年を迎えたことから、更なる連携を図ることを目的として連携協定締結1周年記念イベントを開催した。

本イベントでは、試合のハーフタイム中に、応募いただいた約 30 名に参加いただき、連携協定締結を記念する横断幕や国保税(料)収納率向上のために作成したポスター等を掲げ、場内を周回してPRを行った。

場内周回の様子



ヴァンフォーレ甲府

井上 樹 選手 小林 岩魚 選手
荒木 翔 選手 宮崎 純真 選手

が来会しました!!

令和 7 年度の保険税(料)収納率向上啓発用ポスターに起用されたヴァンフォーレ甲府の井上樹選手、小林岩魚選手、荒木翔選手、宮崎純真選手が 4 選手のサイン入りポスターを持参し、贈呈のため来会した。

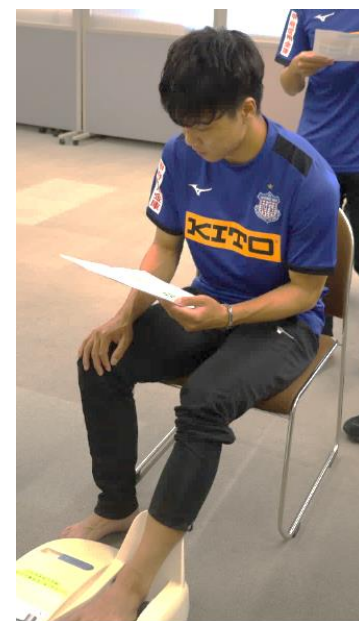
また、4 選手は本会が所有するマルチ周波数体組成計や超音波骨密度測定器の健康度測定機器を使用した測定体験を行った。

測定の結果は、プロサッカー選手ということもあり、非常に高い数値を示していた。

測定体験後は、ヴァンフォーレ甲府との連携協定締結時に作成した横断幕へのサインや本会職員へのサイン会、写真撮影にも快く応じていた。



左から 井上選手、小林選手、荒木選手、宮崎選手



井上選手、小林選手、荒木選手、宮崎選手をはじめ、ヴァンフォーレ甲府関係者におかれましては、シーズン中のお忙しい中、本会に訪問していただきありがとうございました。

6月9日(月)

第三者行為損害賠償求償事務担当職員研修会

本研修会は、専門知識を要する第三者行為損害賠償求償事務について、担当職員に対し、事務処理上の留意点等を伝達することで、事務処理を効率的に進めるための一助となることを目的として、国保保険者、介護保険者及び後期高齢者医療広域連合の第三者行為損害賠償求償事務担当者等を対象に、オンライン(Zoom)にて開催した。

本会嶋田事務局次長の挨拶後、「第三者行為損害賠償求償事務の基本的事項について」、「国保総合システムを活用した運用について」を介護・保険者支援課保険者支援係河野係長が説明を行った。

続いて、「第三者行為損害賠償求償事務 実務編」を本会藤島求償事務専門員が説明を行った。

6月12日(木)・7月9日(水)

シニアわくわく健康運動教室(中央市・甲斐市)

令和7年6月12日(木)に山梨大学医学部グラウンドにおいて、ヴァンフォーレ山梨スポーツクラブと中央市の共催による55歳以上の市民若しくは在勤の方を対象とした運動教室に参加した。

また、令和7年7月9日(水)には敷島体育館において、ヴァンフォーレ山梨スポーツクラブと甲斐市の共催による55歳以上の市民を対象とした運動教室に参加した。

本教室は、急速に進行する高齢化社会の中で、慢性的な運動不足の解消と、フレイル予防、認知症予防の観点から健康維持を図ることによって、地方自治体の財政を圧迫する医療費を抑える一助とすることを目的に開催されている。

内容は地元各種団体と連携した軽運動、フィジカルコーチやアカデミーコーチによるエクササイズ、ボール運動、脳トレなどを取り入れプログラムを構成し運動効果を可視化するために測定等を行っている。

本会は、参加者に対し、健康度測定【体組成計(体重・筋肉量等)、握力、身長、柔軟】を行った。

運動教室の後に、特定健診の受診やジェネリック医薬品の使用に関する普及啓発を実施した。



6月13日(金)

重度心身障害者医療費助成事業市町村事務担当者研修会

市町村の重度心身障害者医療費助成事業事務担当者を対象に、オンライン(Zoom)にて県と連合会の共催で開催した。

本研修会は、重度心身障害者医療費助成制度(自動還付方式)の事務処理において、関連帳票の説明及び活用方法等などについて研修を実施し、市町村での事務処理が円滑に行えるよう知識と技術の習得を目的として開催している。

本会嶋田事務局次長の挨拶後、始めに、「重度心身障害者医療費助成に関する事務処理について」を山梨県福祉保健部障害福祉課企画推進担当小松昇太主任が説明した。

続いて、「重度心身障害者医療費助成事業にかかる高額療養費照会等事務について」を全国健康保険協会山梨支部業務部業務グループ沢戸健一グループ長が説明した。

次に、本会介護・保険者支援課網野参事から「重度心身障害者医療費非該当者等データ連絡票の提出」について説明を行った。

6 月 19 日(木)

アジリティ&ランクリニック

健康意識の向上及び特定健診・特定保健指導の実施率向上等に係る普及啓発 PR 事業

小瀬武道館において、ヴァンフォーレスポーツクラブ主催の小学 1 年生以上を対象としたアジリティ&ランクリニックに参加した。

アジリティ&ランクリニックは、敏捷性を高めるために体の使い方を習得して、素早い方向転換ができるよう、ラダーを使ったトレーニングを実施している。

山梨県保険者協議会と本会は、小学 1 年生以上とその保護者を対象に、健康度測定を行った。

また、保護者には、特定健診の受診やジェネリック使用割合促進に係る普及啓発を行った。

次回は、令和 8 年 1 月 29 日(木)に実施する教室に参加予定。



6 月 25 日(水)・26 日(木)
27 日(金)

糖尿病性腎症重症化予防支援システム操作・活用研修

本研修は、6 月 25 日から 27 日の 3 日間で 計 4 回に分けて開催され、市町村の担当者及び保健師 計 43 名が出席した。

県では、糖尿病の重症化の早期発見、早期治療により、人工透析導入までの期間の延伸、新規人工透析導入患者数の減少を目指し、保険者における糖尿病重症化予防事業の支援を行っている。

本研修は、県が作成した「糖尿病性腎症重症化予防支援システム」の操作方法や活用方法を学び、保健事業の企画や評価などに活用できるよう、本会が県より委託を受け開催した。

研修では、開会挨拶の後、保健事業課保健事業係松山係長と築野副主査から「「支援システム」(202407改修版)の操作方法の演習」について、続いて同課黒倉保健師から「「支援システム」から得られる情報の解説及び保健事業への具体的活用方法」について、実際に端末を操作しながら説明を行った。

説明後には質疑・意見交換が行われた。



7月15日(火)

令和7年度 第1回 山梨県保険者協議会

本会4階審査室にて、山梨県保険者協議会の第1回会議が開催された。

植村武彦会長(県福祉保健部長)からの挨拶後に、事務局から議事事項の説明が行われ、原案のとおり承認された。

〔議事事項〕

- (1)令和6年度山梨県保険者協議会事業報告及び決算について
- (2)令和7年度山梨県保険者協議会事業計画及び予算について
- (3)第三者行為損害賠償求償事務支援事業について
- (4)医師偏在の是正に向けた総合的な対策
- (5)その他



7月25日(金)・8月6日(水)

令和7年度 特定健診・特定保健指導研修会

県自治会館で、7月25日に保健指導編、8月6日に特定健診編と2日間に分けて開催され、保険者、健診機関、県、福祉事務所の担当者が出席した。

本研修会は県民の健康保持・増進及び医療費適正化のため、特定健診・特定保健指導の実施率向上及び保健指導の技術の向上が図られるよう、国が策定する「標準的な健診・保健指導プログラム」を踏まえた、事業の企画・運営・評価ができる能力と、対象者の生活習慣病予防のための行動変容に繋がる保健指導を実施できる能力を有する人材を育成することを目的とし、本会が県より委託を受け開催した。

保健指導編は、「行動変容を促す保健指導のヒント」と題して、大阪大学大学院医学系研究科 公衆衛生学特任准教授 野口緑先生より「健診後の保健指導・栄養指導は病院での保健指導・栄養指導と異なり自覚症状等がないため、強い動機付けをしなければならない。減量だけでなく、血管障害のリスクファクター改善が必要であり、「自分の体で起きていること」の理解をしていただけるような保健指導が求められる」などのご講義をいただいた。

講義の後には、「事例を通じて特定健診結果からリスクを評価し、保健指導の組み立てを演習する」をテーマに、本会が選定した4事例をもとに、8つのグループに分かれグループワークが行われた。

グループワークの後には、各テーマを1つのグループで発表を行い、野口先生より解説とまとめを分かりやすく説明いただいた。

特定健診編では、本会の保健事業課有泉課長の挨拶後、同課河西保健事業指導監から「特定健診の実施状況報告について」と題して説明を行った。

説明後、保険者の担当者による事例発表が行われた。始めに、「特定健診受診率向上に向けた取り組みについて」と題して、南アルプス市国保年金課米長克昌副主査が、続いて、「特定健診受診率向上に向けた取り組み」と題して、甲州市健康増進課高野加恵副主査と早川玲菜主任が発表を行った。

事例発表の後には、「健診受診率向上の取り組みについて」をテーマに7つのグループに分かれグループワークが行われた。



【野口先生の講義の様子】



【グループワークの様子】